事例No.	2656
公表年度	R5
団体の属性	一般市
団体名	岡山県真庭市

事例区分	行政改革

タグ	・人材確保・育成 ・新たな政策手法の確立・活用 ・歳入確保

事例種類	人材確保・育成

事例内容・タイトル

岡山県真庭市

出典

平成29年度ふるさとづくり大賞事例集

岡山県真庭市

概　　要



　真庭市の「里山資本主義」は、バイオマス発電に代表される「大きな里山資本主義」と、各地域で取組みが始まっている「小さな里山資本主義」がある。この二つが連携し、影響し合って「真庭市の里山資本主義」が育つまちを、市を挙げて目指している。
　また、人口減少・少子高齢化社会を迎え、真庭市でもっとも大切な「ひと」を育てることが、真庭市の未来を育てることという理念の基に人材育成を行い、個々の「真庭ライフスタイル」を応援している。

評価された点



・全国の中でも先進的に取り組んでいるバイオマス発電所やCLTの取組を支援することにより、木材産業の活性化を図っている点や人材育成基金を設置し、未来へ向けたまちづくりを担う人材育成に力を入れている点が評価できる。
・バイオマス発電所を整備したことで、真庭だけでなく近隣の山からの木材が供給され、林業振興と連動できている。CLT版の全国標準を作り出すなど、「木・バイオマス」の真庭として全国の先進モデルであり評価できる。
・里山資本主義を実践する先駆的地域として評価。
・木材に関連する政策は常に先駆的であり評価に値する。
・有名な地域であり、市の取組としてはいくつもの受賞をしている。また、徐々に地域づくりの活動に展開され、地域の生業を創ることに寄与している。あらためて表彰し、他自治体の活動の先進事例として表彰することにより、さらに活動を強化していくことを期待したい。
・エネルギー改革、地球規模での環境施策等、喫緊に実験を重ね、更に地域各々の手法検証が求められる中で、エリアの未来図として早くから里山資本主義の勉強会を重ね、住民総意の選択へ結ぶために活動を継続している。モデルケースとしても様々な面から伝播力を有するデータ収集を実践している地域である。
・バイオマス発電などにより未利用材などを燃料として活用して経済効果を高めている。ツアーなどで多くの方が来られて経済波及効果は大きい。